

しず老施協

No. 55

令和元年7月発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館内

TEL. 054-653-2311 FAX. 054-653-2312

E-mail: sizurossi@vesta.ocn.ne.jp

<http://www.shizu-roshikyo.jp/>

巻頭言



平成の時代から令和の時代へ ——令和の時代の日本と人生100年時代における「福祉のターミナルケア」の推進——

静岡県老人福祉施設協議会 会長 石川 三 義

新元号「令和」の誕生と令和の時代の日本

新元号「令和」が国書『万葉集』の第五巻の序文「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す」の2文字から作られたと言われています。

この歌から「令和」という言葉をどのように想像したのでしょうか。私は、そこに日本的な美意識からの直観を感じざるを得ません。

私たちは、「令和」の時代が、心豊かに夢と明日への希望を持って前進できる時代であることを切に願うものです。

言うまでもなく、「令和」の時代は、このままゆくと超高齢化社会であり、継続的な少子化による急速な人口減少化時代であります。令和22年には生産年齢人口が現在の7千5百万人から5千万人台に減少し、自治体の半数が消滅の危機を迎えるとのことや、更に東京圏でも限界集落が見られ、令和49年には生まれてくる子供より100歳以上の高齢者が多くなるとの予測もあります。

我が国は、今後30年後の社会を見据えて、何よりも抜本的な少子化対策・子育て支援対策を講じて人口減少化をくい止め、日本社会の存続の危機を回避しなければならないと考えるのは、私だけではないと思います。令和の時代の深刻な人材不足対策においては、AIや産業ロボットの活用はもとより、80歳まで現役で働き活躍できる社会を作ることや、女性の更なる社会進出を促進すること、外国人労働者の受け入れと移民政策、企業と社会の生産性の向上を更に加速させることなどが提案されています。

「令和」の時代とは、徹底した少子化対策・子育て

支援対策と並んで上記の提案等により介護人材確保・育成対策を推進して人生100年時代の豊かな高齢化社会を世界に先駆けて実現することです。

人生100年時代における「福祉のターミナルケア」の推進

私たちは、これまで長年にわたり介護老人福祉施設で多くの看取り介護を実践させていただきました。

これからの人生100年時代において、人を看取り介護するという仕事は、極めて価値の高い貴い仕事であると思います。私は、福祉・介護の仕事は、人の生活を支え、人の命を守り支えていく誇り高き崇高な仕事であり、まさにこの仕事は聖域であると考えてきました。人が長い人生で生きてきてよかったと思えるためには、そこに医療の支援と共に本当の福祉・介護の提供があるかどうかにかかっていると言えます。

人生100年時代のターミナルケアは、医療中心のターミナルケアではなく、お年寄りの日常生活を大切にしながら、お年寄り一人ひとりに寄り添い、心の介護を重視した穏やかで優しい看取り介護という「福祉的要素の強いターミナルケア」であり、それを推進するのは、福祉・介護職、看護職、ソーシャルワーカーなどの専門職であると言えます。

私たち老施協の会員施設は、これからの令和の時代、人生100年時代において福祉・介護の現場で働く職員に誇りと歓びと責任が持てる魅力と活力ある施設作りに努めると共に、「福祉のターミナルケア」を推進していくことが求められていると考えます。

(あしたかホーム)

特 集 1

“静岡から全国へ介護の魅力を発信”

多数のご参加を、お待ちしております！

第55回関東ブロック老人福祉施設研究総会実行委員会

第55回関東ブロック老人福祉施設研究総会（静岡大会）の開催までおよそ2か月余りとなりました。本総会では介護の未来を真剣に考える仲間たちが集い、様々な取組みが発表されます。私たちが抱える様々な課題を解決するヒントやアイデアが生まれる貴重な機会に、多数の皆様のご参加をお待ちしております。また、総会開催中の誘導や受付などをお手伝いしていただく応援係員も追って募集します。総会の成功に向け、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

第55回関東ブロック老人福祉施設研究総会 開催要綱

テーマ 「未来へつなぐ 福祉の心」 ～育てよう にっぽんの介護力～

期 日 令和元年 9 月26日(木) 13：00～17：00
27日(金) 9：00～12：00

会 場 アクトシティ浜松 大ホール、コンgresセンター 4・5 階
ホテルクラウンパレス浜松

主 催 公益社団法人全国老人福祉施設協議会
関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
静岡県老人福祉施設協議会

後 援 静岡県
浜松市
静岡県社会福祉協議会

スケジュール

<令和元年 9 月26日(木)>

◎全体会 アクトシティ浜松 大ホール



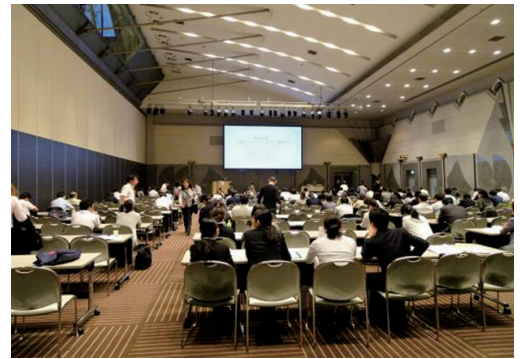
11:00	12:30	13:00	13:50	14:00	14:50	15:10	16:40	17:00
受付	アトラクション	式典	休憩	基調報告	休憩	記念講演	次回 開催県紹介	

【記念講演】 講 師 辛坊治郎 氏（元読売テレビ報道局解説委員長）
 演 題 「明日を読む 正しい判断は、正しい情報から」

<令和元年 9 月 27 日(金)>

◎分科会 アクトシティ浜松 コンgressセンター 4・5 階
 ホテルクラウンパレス浜松 4 階

8:30	9:00	12:00
受付	分科会	



第54回研究総会（千葉大会）分科会会場

【発表テーマ】

第1分科会 「中重度ケアの実践」

- ・認知症ケアに関する実践を通し、その人らしい暮らしを支える。
- ・認知症予防に関する先駆的な取組を実施し、地域で暮らす。
- ・医療との連携を図り、健康への専門的支援を実践する。
- ・施設内外の専門職と協働し、チームケアの実践が期待される。

第2分科会 「暮らしを楽しむ工夫」

- ・介護・看護・栄養等多職種連携によるチームケアから生まれるその人らしい生活。
- ・8050問題等、家族への支援が必要となる現在、相談支援としてのアプローチ。
- ・自立支援に向けた取組の工夫。 ・養護・軽費等専門的支援。

第3分科会 「多職種協働・連携の実践」

- ・介護・看護・リハビリ・栄養・調理等のスタッフの総合的なチームケアが不可欠。
- ・施設内外の専門職との多職種連携、チームケアの実践が期待されている。

第4分科会 「魅力ある職場づくり」

- ・介護人材の育成・確保が喫緊の課題となっている。人材育成、処遇改善、介護機器等に関する取り組みを検証する。
- ・E P A 等、外国人労働者への配慮を行い、介護力向上に関する支援。

第5分科会 「在宅サービスの取組み」

- ・短期入所サービス、通所介護サービス、訪問介護、地域包括支援センター等の実践例を通し、介護、介護予防、総合事業等の在り方を学ぶ。
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護、医療、介護予防、住まい、生活支援等の一体的提供体制の構築が課題となっている。

第6分科会 「社会福祉法人における取組み」

- ・「我が事・丸ごとの地域づくり」「地域共生型サービスの位置づけ」等が掲げられ、地域福祉推進が求められている。
- ・社会福祉法人の使命と地域貢献等の取組みについて考える。
- ・施設の運営管理、施設設備、災害・防災対策等についての取組事例を学ぶ。

<令和元年 9 月 26 日(木)～27 日(金)>

◎福祉機器等展示会 アクトシティ浜松 コンgressセンター 3 階

令和元年 9 月 26 日(木) 10:30～17:30
 9 月 27 日(金) 8:30～12:30



第54回研究総会（千葉大会）機器展示会場

特集2

静岡県働きやすい介護事業所認証制度について ～法人としての取組み～



社会福祉法人春風会
伊豆中央ケアセンター 施設長
堀内 和憲

私どもの法人では、今回の「静岡県働きやすい介護事業所認証制度」に対しまして6ヶ所の特養と併設の事業所併せて23事業所の認証をいただきました。この制度の内容は大きく分けて①キャリアパス制度・人材育成の推進、②サービスの質の向上、③労働環境の改善（ワークライフバランス）の3区分からなっており、14項目の設問に対する具体的な取組みを提示して、審査会の意見聴取後認証されます。今回県内では146事業所が認証されました。認証後のメリットは認証事業所であることをハローワークや人材センター等の求人票に記載できること、また就職説明会等では求職者に安心して就職できる事業所のアピールができるなど求人活動にプラス材料となります。法人では人材確保や人材育成、介護の質の向上を図るために今まで様々な施策を行ってきており、第1回目の静岡県優良介護事業所にも法人内の小規模多機能事業所が選ばれています。

また、この認証制度取得に先立ち、昨年度は約500名の職員にアンケートを実施しました。内容は、入職3年未満の新人職員には就職にあたっての重視する点

や現状の仕事の満足度等、入職3年以上の中堅職員には新入職員とのコミュニケーション方法や指導方法等、リーダー以上の役職者には法人の将来展望や生産性の向上を図る内容等の意見を聞きました。そして集計結果をもとに役職者である副主任、主任それぞれに対し研修会を実施し、現場のアンケート意見から現状の確認と問題点等を介護・障害・保育などの職種合同でグループワークを行い、同じ認識を持つようにしました。そのグループワークの中では「働きやすい職場とは？」の意見として、コミュニケーションがとれる職場、人材育成ができる職場、仕事の達成感が感じられる職場、利用者や家族に感謝される職場、ストレスをためない職場、部下の成長が感じられる職場、利用者と共に喜べる職場、業務改善ができる職場等さまざまな意見が出ました。このような意見は常に役職者が感じていることで達成するには数々の問題があり、大きな目標であると思います。今後もこの認証を糧に法人として職員と共に「働きやすい職場」を目指していきたいと考えております。

「静岡県働きやすい介護事業所認証ロゴマーク」が出来ました！



「静岡県働きやすい介護事業所認証制度」は、介護事業所の人材育成、職場定着、サービスの質向上のそれぞれの取組について、県が定めた基準を満たすと認められる介護事業所を県知事が認証する制度として、平成30年度に創設しました。

このロゴマークは、本制度を広く県民の皆様に理解していただけるように作成したものです。認証事業所の皆様におかれましては、各種広報等に是非御活用ください。

なお、今年度第1回の認証申請を7月31日(水)まで受け付けております。詳しくは、県介護保険課のホームページを御覧ください。

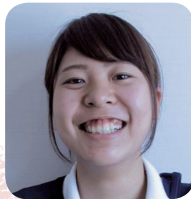
新人職員紹介

どうぞよろしくお願いします

ディアナの郷

(富士市)

- ① 塚崎里紗（介護職員）
- ② 休日
- ③ ジャニーズ
- ④ 貯金
- ⑤ 笑顔あふれる施設にしていきたい
- ⑥ 実習で勉強させて頂いたときにやりがいを感じたから



しらいと

(富士宮市)

- ① 福本剛士（介護職）
- ② 介助時、利用者様に「あんたがやってくれと、同じ痛いことでも全然ちがうよ。いつもお兄さんがやってくれたらいいのに」と言われたこと。
- ③ 大泉 洋
- ④ 一軒家を建てる。友人や家族と旅行に出かけたい。
- ⑤ ご利用者の方が安心でき、日々小さな喜びや優しさを感じられるような温かい場所にしたいです。
- ⑥ 職員との関わりの中で、ご利用者の方の雰囲気や表情が柔らかくなる様子を見て、自分も利用者を自然に笑顔にできるような関わりができる職員を目指したいと感じたことからです。



蜂ヶ谷園

(静岡市)

- ① 鈴木 大悟（相談員）
- ② 周りから痩せたといわれた事。
- ③ あいみょん
- ④ 家電製品を全部最新の物にする！
- ⑤ お客様に「また来たい！」と思って頂ける施設。
- ⑥ 同じ会社で働きたい、と感じる人がいたから。



みどりの園

(島田市)

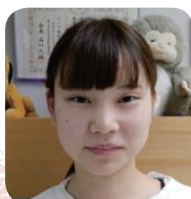
- ① 増田佳佑（介護職員）
- ② 利用者様に名前を憶えていただいたこと。
- ③ 三浦知良選手（キングカズ）
- ④ 貯金する。美味しいものを食べる。
- ⑤ 利用者様の笑顔が絶えない施設
- ⑥ 施設の明るい雰囲気に引かれ、職員の皆さんのあいさつの良さで選びました。



豊仙苑

(磐田市)

- ① 藤原亜真（介護職員）
- ② 犬を飼ったこと。
- ③ 岸優太（キンプリ）
- ④ 海外旅行に行く。
- ⑤ 利用者様の笑顔が溢れる施設。
- ⑥ 見学をした際、雰囲気が良かったから。



灯光園

(御前崎市)

- ① 栗林麻美（介護士）
- ② 部屋の模様替えが満足いく配置にできたこと。
- ③ 鈴村健一（声優）
- ④ 半分貯金！半分で実家を建て替える。
- ⑤ 明るい雰囲気の職場。
- ⑥ 落ち着きと温かみが感じられたから。



各施設の新人職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手
 ④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか
 ⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

静岡県老施協東部支部の活動紹介

長期勤続職員との対談

社会福祉法人 岳陽会

しず老施協ご愛読いただいている皆様こんにちは。
今号の支部紹介では「長期勤続職員との対談」行いました。

お伺いした法人は富士市にあります「社会福祉法人 岳陽会」。岳陽会は昭和60年10月に設立され「お年寄りの皆様が住み慣れた地域で自立した明るい生活をお送りいただけるサービスの提供」を基本理念に、遠藤勝理事長を始め、現在200名を超えるスタッフの法人になります。

地域密着型特別養護老人ホーム あおば
ケア副主任・ショート担当 柳野隼規（勤続10年）
デイサービスセンター みもざ
看護師 岡下鈴子（勤続10年）
インタビューワー 坂井田敬子（わだの里）

坂井田：お仕事を始めたきっかけを教えてください。

柳野：工業高校に行きましたが、機械相手のつまらない毎日は嫌だと思い、小学生の時にボランティアで行った老健の事を思い出し、福祉系の専門学校に進学しました。何か所か実習に行きましたが、先輩たちが優しく教えて下さり、すごく楽しかった岳陽会を選びました。

岡下：テレビの「ナースのお仕事」等を見て、看護師さんなら手に職持てると考え、病院などではできない直接関わりの持てる介護施設、岳陽会を選びました。



坂井田：楽しかったこと、心に残ったことは？

柳野：食べることも殆どできなくなった看取りの方を連れてその方が大好きな海へ行ったことです。

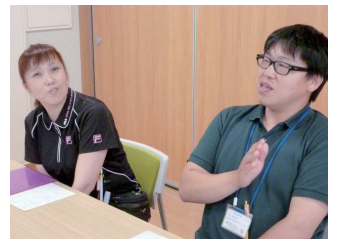
途中コンビニで、その方とハーゲンダッツのアイス選んで海で一緒に並んで食べました。



ご家族、先輩、多職種の方のおかげでごくよい思い出になりました。

坂井田：仕事を辞めたくなくなったことや、どうやって乗り越えたのか教えてください。

柳野：岳陽会は施設長を始め同じ目線にたって考えてくれる人が多く、そんな時も先輩が夜中まで悩みに付き合ってくれ、頼れる人がいることで気持ちが楽になりました。プラス休みの日は趣味を楽しむストレスを持ち越さず、家族との時間を大事にすることです。



岡下：家に帰ると元気な子供達が待っています。子供たちのかわいい寝顔を見ると明日からまた頑張ろうって思います。

坂井田：介護のお仕事とは？今後の目標は？

柳野：毎日が人と人との関わり繋がり、利用者さんと笑いあえる仕事。その方の生活を支え、自分も支えて頂ける仕事です。今後は沢山の資格を勉強し、施設だけではなく地域にまで視野を広げ支えられる職員になることが目標です。



岡下：利用者を笑顔にできる唯一の仕事。家族の次に心を許してくれる場所。それが介護の仕事だと思います。今後は子育て世代の職員をカバーできるような看護師を目指します。

坂井田：お忙しい中、ありがとうございました！



3か年計画で実施する 「人材育成研修」の紹介

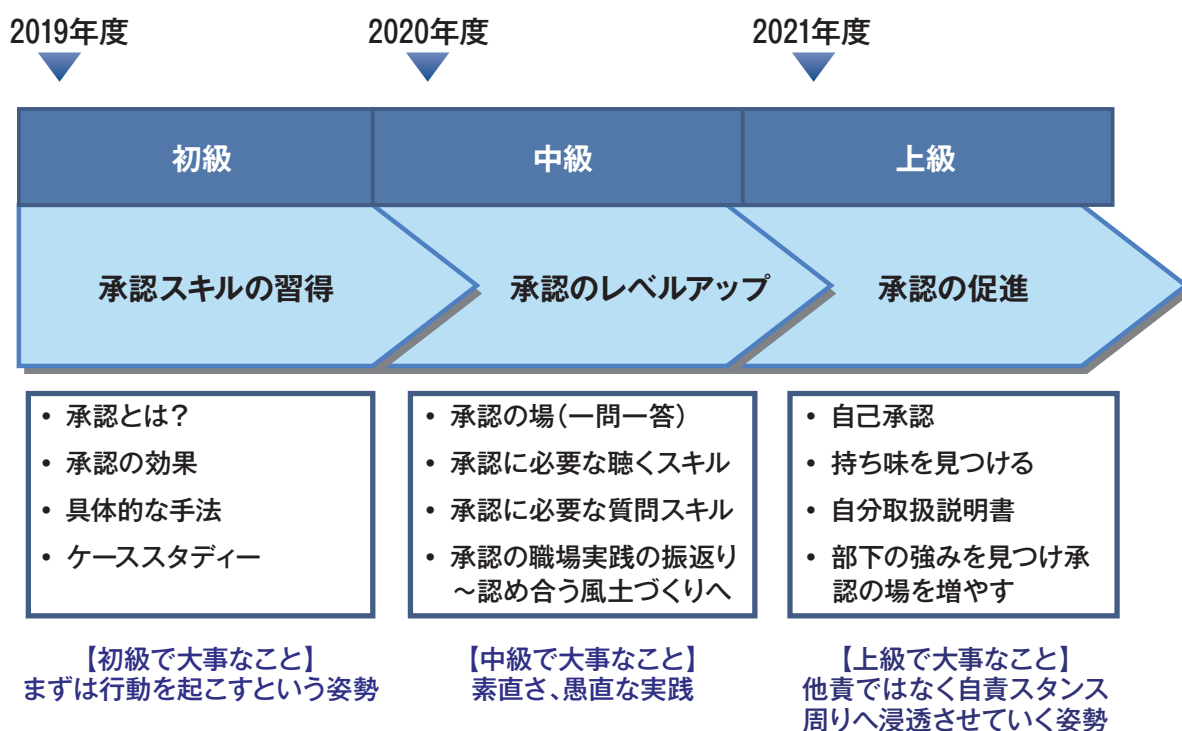


研修委員会副委員長 原 木 豊
(社会福祉法人 至誠会 みどりの風・おかべ施設長)

研修委員会では、平成29年度に実施したアンケート調査の結果、会員の皆様の関心が最も高かった「人材確保と人材育成」をテーマに平成30年度の研修計画を作成し、講師に浜松市在住で介護分野の人材育成・マネジメントで活躍されている後藤功太氏（ふくしえん社労士事務所：社会保険労務士・GCS認定コーチ）をお迎えして、『【認めること】を核としたマネジメント教育!!「承認マネジメント研修」』を実施、東部・中部・西部の3会場で同一の研修を展開し、4時間の研修時間で「承認マネジメント」の初期段階を学んで頂き、参加者から高評を得ることができました。

本年度は参加機会の充実と内容のステップアップを図りたいと考え、研修委員会の定例会議に後藤講師をお招きして話し合い、下記の「承認マネジメント研修3か年計画」を立案するに至りました。

テーマ「承認マネジメントをマスターして、承認溢れる職場を創造する」



Copyright(C) Fukushima SR Office, Inc. All rights reserved.

1

【初級】：まずは、承認スキルを学び、現場に戻って実践できるためのノウハウを提供します。研修では、「行動を起こすこと」「同志との交流」を重点に進めていきます。

【中級】：実践した結果の振り返りから、行動の成果を確認します。「なかなか行動出来ない・・・」という悩みを解消するために、+ aで必要なスキルを習得します。

【上級】：自分だけでなく、周りの部下も承認が出来るようになるためのスキルを学びます。他責になりがち

な環境を打破し、自責スタンスで取り組めるためのマインドセットをします（講師より：過去の研修受講者から「自分に余裕がない」という声をよく聴きます。そのため、「心の余裕」を持たせることも必要です）。

本年度は「初級編」を中心に展開し、来年度は「中級編」、再来年度は「上級編」を中心に会員施設職員の人材育成スキルの向上を目指します。東部・中部・西部の会場で同一の内容+ aで展開して参りますので、皆様の職場のチーム力向上・モチベーションアップを図るきっかけに活用して頂ければ幸いです。

令和元年度老施協活動報告

【老施協】

★元年5月14日 監事監査会

平成30年度事業報告案・収支決算案について

★元年5月14日 第1回理事会

県総合社会福祉会館601会議室

【協議事項】

理事・委員会委員の補欠の選任、平成30年度事業報告案及び収支決算案について

【報告事項】

第55回関東ブロック老人福祉施設研究総会について

★元年5月31日 第1回総会

静岡音楽館AOI講堂

【協議事項】

理事の補欠の選任、平成30年度事業報告案及び収支決算案について

【報告事項】

委員会委員の補欠の選任、第55回関東ブロック老人福祉施設研究総会について

【企画経営委員会】

★31年4月11日 第1回委員会

委員会委員の補欠の選任、平成30年度活動実績、平成31年度活動計画について

★元年6月11日 第2回委員会

全体打合せ（アンケート調査・要望活動・ネットワーク活動）、チーム別活動の検討（調査研究・要望・ネットワーク・研修）について

【広報委員会】

★31年4月23日 第1回委員会

委員会委員の補欠の選任、『しず老施協』第55号の企画、ホームページの充実に向けた検討について

【研修委員会】

★31年4月25日 第1回委員会

委員会委員の補欠の選任、平成30年度活動実績、平成31年度活動計画（主催研修）について

★元年5月31日

施設長研修会「働き方改革と人材育成について」

静岡音楽館AOI講堂

＊講師 赤堀社会保険労務士事務所 社会保険労務士 赤堀久士氏

★元年6月17日

「接遇マナー研修会」

静岡県総合社会福祉会館7階会議室

＊講師 Jプレゼンスアカデミー 山脇あき子氏

★元年6月27日 第2回委員会

令和元年度事業内容（接遇マナー研修、人材育成研修、県外研修）について

【21世紀委員会】

★31年4月25日 第1回委員会

委員会委員の補欠の選任、平成30年度活動実績、平成31年度活動計画（各グループ事業）について

★元年6月4日 第2回委員会

令和元年度事業内容（社会福祉法人の人材確保におけるニーズ調査アンケート、学生セミナー、SHIZUOKAミーティング等）について

【関東ブロック老人福祉施設研究総会実行委員会】

★31年4月19日 第6回委員会

全体協議・報告、チーム別協議、今後のスケジュールについて

★元年5月17日 第7回委員会

全体協議・報告、チーム別協議、今後のスケジュールについて

★元年6月12日 第8回委員会

全体協議・報告、チーム別協議、今後のスケジュールについて

【養護委員会】

★元年5月10日 第1回委員会

委員会委員の補欠の選任、平成30年度活動実績、令和元年度活動計画について

【特養委員会】

★31年4月16日 第1回委員会

委員会委員の補欠の選任、平成30年度活動実績、平成31年度活動計画について

【地域ケア委員会】

★元年6月13日 第1回委員会

平成30年度活動実績、令和元年度活動計画について

新 加 入 施 設 紹 介

軽費老人ホーム みずほケアハウス

法人名 社会福祉法人 御山会

開設日 平成29年6月1日（入会申込 平成30年6月4日）

施設長 山崎 博史

所在地 富士市瓜島町173-1

入所定員 29人 デイサービス 35人 ショートステイ 4



特別養護老人ホーム 大富陽光園

法人名 社会福祉法人 珀寿会

開設日 平成31年1月1日（入会申込 令和元年6月1日）

施設長 服部 貴一

所在地 焼津市三右衛門新田675-1

入所定員 90人 デイサービス 20人 短期 10人



「しず老施協」アンケート 調査結果の概要



広報委員会副委員長 倉田 聡
(社会福祉法人 慈照会 わだの里施設長)

皆さんこんにちは。

広報委員会しず老施協チームでは、より良い「しず老施協」を提供するために平成31年2月～3月でアンケート調査を行い、会員施設305施設より計172施設(回答率56.4%)からご回答をいただきました。会員の皆様には大変お忙しい中ご協力をいただき誠にありがとうございました。

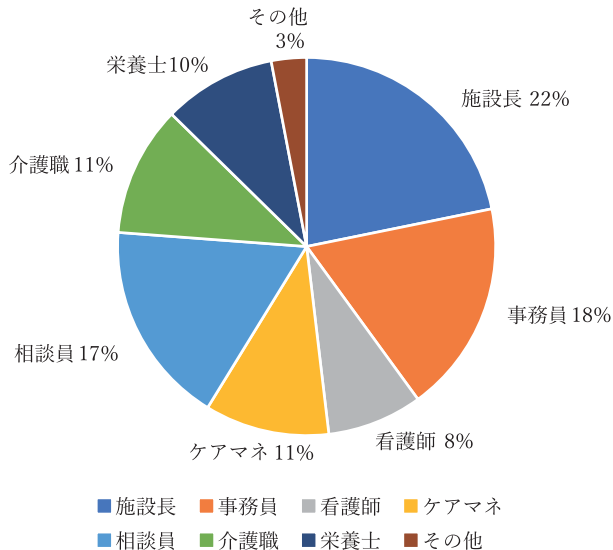
調査項目は13項目で紙面構成などは下記9項目となります。

問1「提供しているサービス」は、圧倒的に特別養護老人ホームの61%で次に老人短期入所施設の13%になりました。

問2「しず老施協を読んでいる人数」は、1～10人が53.3%で次に11～30人が32%となり沢山会員様が読まれていることに感激致しました。

問3「読んでいる職種」は、施設長を始め、事務員・相談員・介護職など幅広い職種の皆様が読まれていることにさらに感激致しました。ありがとうございます。

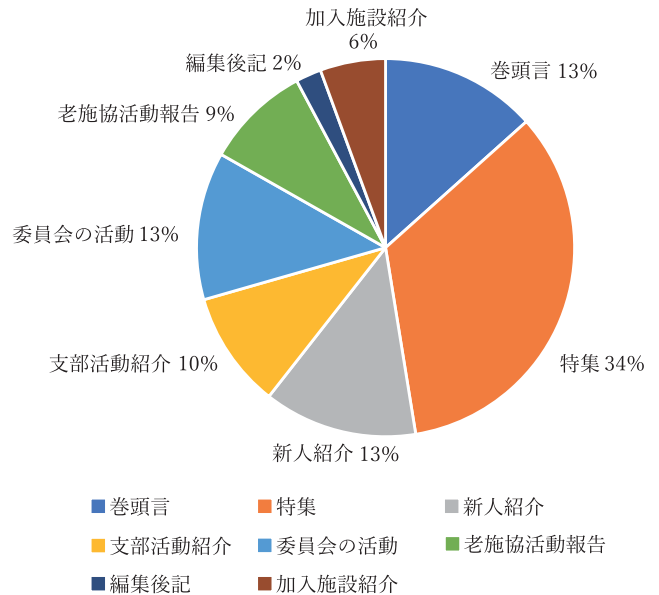
問3 読んでいる職種



問4「閲覧の方法」は、回覧式が80.9%で圧倒的に次の掲示板の14.8%になりました。この件に対しては今後のホームページのリニューアルとともにタブレットやスマートフォンで気軽に読めるシステム作りが課題と考えられます。

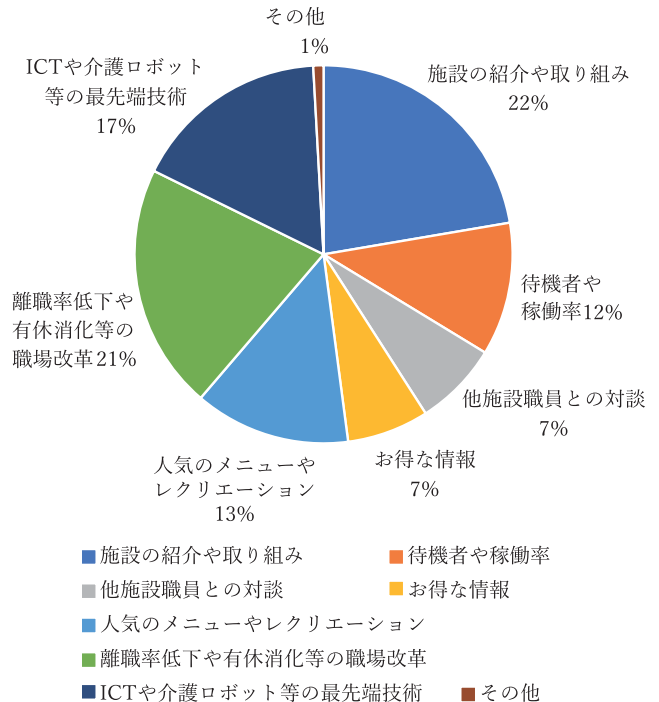
問5「しず老施協で楽しみにしている項目」は、特集が34.1%で次に巻頭言・新人紹介が13%代と続きます。特集や他施設の新人はやはり気になる記事ですね。

問5 楽しみな項目



問6「企画して欲しいテーマ」は、施設の紹介や取り組みが22.3%で次に離職率低下や有休の消化などの職場改善が21%となりました。

問6 企画して欲しいテーマ



この上位二つで43.3%と半分近い%で、会員施設の興味がここにあることに注目し話し合い「長く勤めている職員に人手不足や職場改善・離職率を下げるヒントがあるのでは?」と、今回の企画「長期勤続職員と

の対談」に至りました。約1時間ほどで2万文字近い大変盛り上がった対談になりましたが紙面の構成上約1000文字程に圧縮させていただいており、その場の臨場感などが伝わりにくく申し訳ございません。又、「インタビューされたい！」会員様は広報委員会へ御一報入れていただければと思います。お待ちしております。

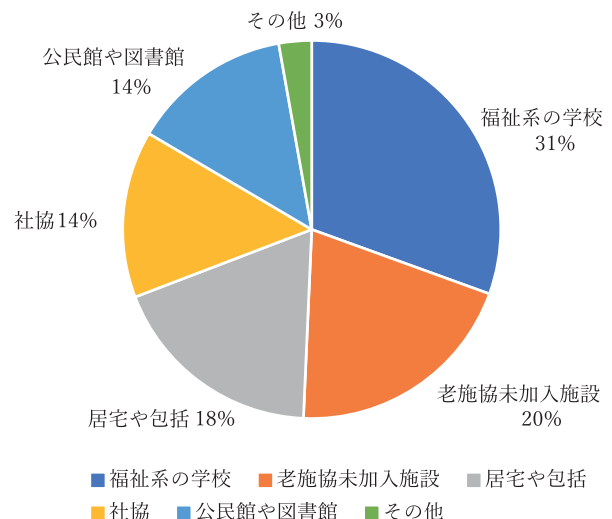
問7「しず老施協の紙面構成」は、このままの構成でよいが88.8%で、次に一部変更が11.2%となり、現在のスタイルが非常に会員様のニーズにマッチしていることが窺えます。

問8「変更が必要な部分」は、内容が44%で次に文字が多いの36%と続きました。今後は新企画や写真等を多く取り入れて会員様のニーズに対応したいと思います。楽しみにお待ちしております。

問9「老施協の活動を知っていただくために配布先を増やすとすれば？」は福祉系の学校が30.5%で次に老施協未加入施設の20.2%になりました。老施協会員様の取り組みやメリットを学生や先生、未加入施設に知っていただくことでより老施協、福祉業界の良さを感じ取っていただきたい会員様の思いが伝わる結果となりました。

活字離れからPC離れ、マウスのクリックから画面のフリックへ。そしてYouTube等の動画やスマートフォンが当たり前の時代になりました。就活では履歴書の代わりに自己アピール動画の提出を求める企業もあります。時は古い物の長所を残しながら新しい物へ

問9 配布先を増やす



代わり、便利になりながらも個性がなくては生き残れない。これが進化なのかな？と感じます。

広報委員会しず老施協チームは今後もアンケート調査等を行い、皆様のご意見をどんどん吸収し、個性あふれる進化した「しず老施協」の紙面作りを行っています。

これからも、会員皆様のご意見ご協力を宜しくお願い致します。

お時間がございましたら、窓からのダイビングアタックで私の肋骨を二回折った猫のみーのすけが登場する編集後記を引き続きお読みください。

ありがとうございました。

編集後記 「しず老施協」アンケート調査結果を踏まえて

皆さんこんにちは。「しず老施協」第55号いかがでしたでしょうか？

アンケート調査の項目にもある人手不足・離職はどの業界でも問題視され、色々な対策が講じられています。休みの日にぶらっと入った遊技場では20～30代の若者が熱い眼差しで真剣に銀玉を弾き、コインを投入しておりました。若者の隣に座り

倉田「出てるねー。プロなのかな？」と話しかけると、その若者は

若者「やりたいことも、やることもないから打ってんだよ」の答え。

倉田「介護業界ってどう思う？」と尋ねると、

若者「よくわからねーし（笑）」。

倉田「だよね。イメージできないよね（笑）」とコーヒを飲みながら盛り上がり、

若者「ツレも仕事してないんだよね。良い仕事ないかなあ？（笑）」

と笑いながらの会話になりました。

自宅に帰りすり寄ってくる猫のみーのすけに

倉田「今日遊技場でこんなことがあったんだよ。どう思う？」

猫「にゃー！」

倉田「そうかそうかお前もそう思うか。お腹減ったか？」

猫「にゃー！」

倉田「そうかそうかお腹減ったか。ごはんだよ」

猫「うにゃにゃにゃにゃにゃ」と部屋を去って行きました。

お腹減ってなかったんだね……。

案外猫との会話のように「人がいない・人が来ない・人が続かない」は自分の「思い込み」が悪さをしているのかな？もしかすると、介護の魅力を分かりやすくまだまだ知らない方達に伝えられれば少しでも介護業界の人手不足が解消できるのかな？と感じた数時間になりました。

今後も皆様により良い「しず老施協」をお届けできるように努めて参りますので皆様のご指導宜しくお願い致します。ありがとうございました。